

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

当院リハビリテーション科に大腿骨近位部骨折の診断にて入院され、治療を受けられた患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者の体組成の変化
2. 研究の対象者	2013年4月から2015年12月の期間に当院回復期リハビリテーション病棟に入院した近位部骨折患者様を対象とします。
3. 研究期間	令和4年9月3日 ～ 令和4年12月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任技師：リハビリテーション部技師 堀田 旭 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	大腿骨近位部骨折患者は、高齢者の中でもサルコペニアを合併している割合が多い。さらに近位部骨折受傷後、骨格筋量は減少し体脂肪量は増加するが、骨格筋量の減少は受傷後2ヵ月の間に急激に生じる。しかし、これらの報告は回復期において十分なりハビリを受けた患者を対象としていない。そこで、本研究では回リハ病棟における近位部骨折患者のASMI、体脂肪量の変化を検討する。
6. 研究の方法	本研究は後方視的研究です。診療録（カルテ）より身体機能評価、体組成などの生理検査の内容を情報収集し、これらの経時的変化を調査します。本研究に際して、個人の特長が可能な情報は解析に用いませぬ。また、患者様に新たにご負担頂くことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、身長、体重、診断名、生理検査内容（Alb、Cre、eGFR、Hb、CRP）、入棟時と1ヶ月後の体組成（四肢筋肉量・体脂肪量）を調査します。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報进行削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で、当院のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。 データ廃棄の際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 堀田 旭
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 堀田 旭 電話：06-6458-5821（代表）